



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月25日

上場取引所 東 名

上場会社名 カゴメ株式会社

コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 秀訓

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長 (氏名) 長井 進

TEL 03-5623-8501

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	98,519	4.2	6,078	14.5	6,315	12.0	3,682	12.5
22年3月期第2四半期	94,521	△3.7	5,307	86.8	5,640	89.7	3,273	197.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	37.02	—
22年3月期第2四半期	32.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	169,027	89,679	52.2	887.17
22年3月期	134,005	89,418	65.7	885.16

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 88,244百万円 22年3月期 88,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	15.00	15.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	4.7	6,900	7.9	7,300	△0.1	4,000	34.2	40.21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 99,616,944株 22年3月期 99,616,944株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 149,404株 22年3月期 148,071株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 99,468,336株 22年3月期2Q 99,470,729株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5～6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

平成23年3月期の個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	162,000	3.5	7,200	4.4	7,700	0.2	4,600	—	46.25

(注)平成22年4月26日に公表いたしました個別業績予想は、本資料において修正しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表等	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	16
(7) 企業結合等関係	17
(8) 重要な後発事象	19
4. (参考) ハイライト情報	20
(1) 主要な経営指標の推移	20
(2) 当社グループの状況及び業績	21
(3) 四半期連結貸借対照表	23
(4) 四半期連結損益及び包括利益計算書	25
(5) 四半期連結株主資本等変動計算書	27
(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	29
(7) 販売費及び一般管理費明細	31
(8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細	31
(9) 支払利息明細	31
(10) 有価証券関係	32
(11) セグメント別売上高	33
(12) 四半期損益情報	35
(13) セグメント売上高及びセグメント利益	36
(14) 四半期個別貸借対照表	41
(15) 四半期個別損益計算書	43

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～9月30日）は、政府の景気判断に経済環境の厳しさが表現されるなど、経済の行く末はまだまだ不透明であり、生活者を取り巻く環境は予断を許さない状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは変化に対応すべく新たな3ヵ年中期目標を設定し、昨年度までにつくった「縮んでも利益を出せる体質」を維持しながら、成長に軸足を移しております。成長のための重点事業戦略は「国内既存事業での新たな需要創造」「新たなチャネル開発」「海外におけるマルチリージョナルな事業展開」であり、着実に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間においても、野菜飲料を中心として積極的な広告投資を行ったことや、肉食回帰のトレンドによりトマト調味料が堅調に推移したこと、また今夏の猛暑が飲料の売上に好影響を与えたことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

利益面につきましては、既存商品の活性化及び新商品のトライアル獲得のため、積極的な広告投資を行ったことで、広告宣伝費は5億22百万円増加(P.31)いたしました。またデフレ環境下におけるお客様の値ごろ感への対応のため、売上高に対する販売促進費の割合は前年同期比1.0ポイント上昇(P.31)いたしました。一方、継続的な原価低減活動の効果があらわれたことなどにより、売上原価率は前年同期比1.4ポイント低下(P.25)いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結の売上高は、前年同期比4.2%増の985億19百万円、営業利益は前年同期比14.5%増の60億78百万円、経常利益は前年同期比12.0%増の63億15百万円、四半期純利益は前年同期比12.5%増の36億82百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次の通りであります。

#### <国内コンシューマー事業>

国内コンシューマー事業の売上高は、前年同期比5.0%増の788億97百万円(P.33)となりました。各事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

##### ① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、平成22年春に新商品の投入を含めた大幅なリニューアルを行った「野菜生活100」シリーズが順調に推移いたしました。6月には季節感のある期間限定商品「野菜生活100 沖縄シークワサーミックス」を、7月にも「野菜生活100 Refresh! 沖縄シークワサー&レモン」「野菜生活100 Refresh! カシス&オレンジ」を追加発売いたしました。今夏の猛暑の後押しも受け好調な売れ行きとなりました。その後も「野菜生活100 フルーティーサラダ」「野菜生活100 ラ・フランスミックス」「野菜生活100 Refresh! ゆず&レモン」を発売し、更なる拡販に努めております。

野菜飲料の需要回復に向けた広告投資も積極的に行いました。「野菜生活100」シリーズについては、“朝”の飲用オケージョン拡大を目指して、「野菜で朝活! キャンペーン」を、人気タレントの上地雄輔さんを起用して展開いたしました。「野菜一日これ一本」シリーズについては、幅広い人気を得ている女性アイドルグループAKB48（エーケービー フォーティーエイト）を起用し、「ぎゅぎゅっと元気プレゼントキャンペーン」などを通じて、野菜摂取への共感とブランドロイヤリティの向上を図りました。同キャンペーンには400万件を超える応募があり、当社のキャンペーンでは過去最高の応募件数となりました。結果、当第2四半期連結累計期間における「野菜一日これ一本」シリーズの売上高は前年同期を2割以上上回り、当社の野菜飲料カテゴリーを牽引いたしました。

乳酸菌カテゴリーにつきましては、植物性乳酸菌「ラブレ菌」の機能価値である便通の改善を広くお伝えする価値伝達活動を積極的に展開してまいりました。平成22年春には既存品のパッケージの刷新とフレーバーバリエーション「植物性乳酸菌ラブレ ピーチMIX」の追加発売を行いました。広告宣伝も人気お笑いコンビ南海キャンディーズの「しずちゃん」こと山崎静代さんを起用して、「夜飲んで、朝スッキリ!」をコンセプトにテレビコマーシャルなどを展開し、新規ユーザーの獲得を目指してまいりました。

その結果、飲料事業の売上高は、前年同期比4.2%増の508億62百万円(P.33)となりました。

## ② 食品事業

お客様の生活防衛意識の高まりによる内食回帰のトレンドは継続しており、メニュー提案型のトマト調味料などが拡大いたしました。平成22年春に新発売したごはんに合うトマト味メニューの専用ソース「トマレピ！」シリーズについては、タレントのはるな愛さんを起用したテレビコマーシャルを行うなど、積極的な拡販に努めました。加えて8月には、秋冬向けの新メニューとして「鶏肉ときのこのデミトマ炒め」など6品を追加発売しております。そのほか、同じく春の新商品である「サラダそうめん用 トマトつゆ」、パスタソースの「完熟トマトのポモドーロ」「アンナマンマ 冷製パスタソース」、秋冬向けの新商品である「トマトすき焼き鍋」や、トマトの旨味とコクが効いたまろやかな味わいのポン酢「トマぼん」などを通じて、生活者に浸透しつつあるトマト味に新しさと驚きを提供し続けながら、その定着・拡大を図ってまいりました。既存商品においても、第1回目を開催した昨秋に続き、5月にトマトケチャップを使ったメニューレシピコンテスト「主婦-1グランプリ」を、料理研究家のコウケンテツさんを公式サポーターに迎えて開催するなど、需要喚起に努めました。

その結果、食品事業の売上高は、前年同期比5.0%増の149億26百万円(P.33)となりました。

## ③ ギフト事業

定番の「フルーツジュースギフト」・「フルーツ+野菜飲料ギフト」・「野菜生活ギフト」に加え、人気の「国産プレミアムジュースギフト」や「100%ゼリー&ジュースギフト」の拡販を図りました。カートカン・紙容器といった、容器のバリエーション展開も拡大いたしました。また、インターネットや通販チャネルにおいても取扱いの拡大を図りました。これらの施策により、生活防衛意識の高まりによる贈答市場の縮小、主要業態である百貨店の低迷、という逆風の環境下において、前年同期の売上高を上回ることができました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比2.9%増の52億97百万円(P.33)となりました。

## ④ 生鮮野菜事業

平成21年秋に「こくみトマト」シリーズのリニューアルを行ったのに続き、平成22年春にはその大容量ラインナップのリニューアルを行いました。これらを小売店の店頭において当社家庭用商品との連動展開を強化することなどにより、需要拡大を図ってまいりました。また栄養価の高い「高リコピントマト」においては、5～6月に期間限定でメニュー提案パッケージを採用し、取扱いの拡大を図りました。7月以降は天候の影響もあり好調に推移しておりません。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は、前年同期比12.7%増の39億91百万円(P.33)となりました。

## ⑤ メディア通販事業

平成21年7月に主力商品「毎日飲む野菜」「毎日飲む野菜と果実」のリニューアルを実施し、それにあわせて広告投資を拡大したことで、お客様を順調に増加させることができ、その後も多くのお客様に継続購入いただいております。また季節感のある数量限定商品「沖縄県産果実&野菜100%」を6月に発売いたしました。好評を博し完売いたしました。

その結果、メディア通販事業の売上高は、前年同期比12.1%増の38億19百万円(P.33)となりました。

## <国内業務用事業>

平成22年春に、トマトを使用した和風メニューの提案のための調味料として「炒めトマみそ」、野菜で彩りを加えるメニューの提案として「黄野菜ジュレ」、温野菜メニューの提案のために「バーニャカウダソース」、ノンアルコールドリンクの提案として「シャルドネ」など16アイテムを新発売いたしましたので、その市場定着に向けたメニュー提案活動を強化いたしました。8月には同じコンセプトの新商品「トマト鍋の素」「タジンソース」「カシス」などを追加発売し、春から注力してきた活動を強化いたしました。あわせて主力商品であるトマトケチャップなどの需要活性化に注力するとともに、大手顧客に対する開発営業活動の強化にも取り組みました。

その結果、国内業務用事業の売上高は、前年同期比1.4%増の119億59百万円(P.33)となりました。

## <国内その他事業>

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などをあわせた国内におけるその他事業の売上高は、前年同期比1.7%増の70億81百万円(P.33)となりました。

## <海外事業>

海外事業の売上高は、前年同期比5.2%減の69億33百万円(P.33)となりました。各地域別の売上高の状況は、以下の通りです。

### ① 米国

米国子会社であるKAGOME INC. は、一部顧客への出荷量減と、円高の影響を受け売上高が減少いたしました。

その結果、米国における売上高は、前年同期比12.0%減の50億91百万円(P.33)となりました。

## ② 欧州

イタリア子会社であるVegitalia S.p.A.は、欧州における経済環境悪化の中、2009年度クropp品の出荷と2010年度クropp品の受注が順調に推移しております。ただし、中期事業計画の遂行は遅れており利益面での改善は途上にあります。

その結果、欧州における売上高は、前年同期比7.5%増の6億86百万円(P.33)となりました。

## ③ アジア

平成22年4月に新組織「アジア事業カンパニー」を設立し、現地市場に根差したアジア内需への事業展開を推進するため、中国・台湾・その他アジア地域における事業可能性を検討しております。

台湾子会社である台湾可果美股份有限公司は、昨年度実施したケチャップの値上げに伴い苦戦しておりましたが、その後の市場シェア回復により復調してまいりました。

中国子会社である可果美(杭州)食品有限公司は、広告宣伝を行った現地開発型商品が寄与し、売上を伸ばすことができました。

その結果、アジアにおける売上高は、前年同期比29.4%増の11億56百万円(P.33)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末は、総資産については、前期末に比べ350億22百万円増加いたしました。

流動資産については、主に資金調達手段の確保と資金調達枠の増額により304億2百万円増加いたしました。

主な流動資産の変動は、「現金及び預金」が75億45百万円、「受取手形及び売掛金」が72億95百万円、「有価証券」が155億12百万円増加したことによります。

固定資産については、いわき小名浜菜園㈱を連結子会社としたことに加え、オーストラリアのトマト加工会社・農業会社の事業を譲受け、事業用資産を取得したことなどから、46億20百万円増加いたしました。

主な固定資産の変動は、「有形固定資産」が20億34百万円、「無形資産」が36億32百万円それぞれ増加し、「投資その他の資産」が10億46百万円減少したことによります。

負債については、前期末に比べ347億61百万円増加いたしました。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が40億79百万円、「短期社債」が200億円、「未払金」が34億55百万円、流動負債「その他」が25億円、「長期借入金」が57億97百万円それぞれ増加したことによります。

純資産については、前期末に比べ26億1百万円増加いたしました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当14億92百万円と、四半期純利益36億82百万円により「利益剰余金」が21億90百万円増加したことと、「その他有価証券評価差額金」が3億52百万円減少、「繰延ヘッジ損益」が14億14百万円減少したことによります。

この結果、自己資本比率は52.2%、1株当たり純資産は887円17銭となりました。

## (連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物は、147億28百万円となり、前期末比で24億58百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、91億66百万円の純収入となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が66億71百万円となったこと、減価償却費が28億57百万円となったこと、仕入債務が47億57百万円、未払金が31億75百万円それぞれ増加したこと(キャッシュの純収入)、売上債権が66億22百万円増加したこと(キャッシュの純支出)、法人税等の支払により27億31百万円を支出したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、288億93百万円の純支出となりました。この主要因は、定期預金の預入により50億円を支出したこと、有価証券の取得により166億92百万円を支出したこと、オーストラリアのトマト加工会社・農業会社の事業譲受けにより71億47百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、222億57百万円の純収入となりました。この主要因は、短期社債の発行により200億円の収入となったこと、長期借入金の借入による収入66億円及び返済による支出15億24百万円により50億75百万円の純収入となったこと、配当金の支払により14億84百万円を支出したことによります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の結果を受け、通期の業績予想を修正しております。第2四半期連結累計期間に計画していた広告投資の執行時期を、一部第3四半期以降に変更しており、また成長のためにマーケティング投資や事業投資に関わる費用を追加するため、第3四半期以降については従来予想に対し減益となります。第3四半期以降は、成長へのシフトを確かなものとするべく、野菜飲料を中心として一層の販売促進強化を図ってまいります。

#### <国内コンシューマー事業>

##### ① 飲料事業

野菜飲料カテゴリにつきましても、当社の売上回復を確かなものとするとともに、トップブランドとして野菜飲料市場を再成長させることが当社の責務と考え、需要創造に取り組んでまいります。体に良い飲料としての野菜飲料の認知をより拡大させるとともに、カテゴリ・ブランドの新しさを打ち出す商品の上市などにより、更なる新規ユーザーの獲得を目指してまいります。

新商品については、秋冬向けに9月に発売した「野菜生活100 ラ・フランスミックス」「野菜生活100 Refresh! ゆず&レモン」「やさいしぼり かぼちゃプリン」の拡販に努めるとともに、季節性のある商品を追加発売するべく準備を進めております。

プロモーションについては、「野菜一日これ一本」シリーズにおいて、今夏AKB48を起用して好評を博した「ぎゅぎゅっと元気プレゼントキャンペーン」の第2弾を10~12月に実施し、ブランドロイヤリティの更なる向上を図ってまいります。恒例となっております「10月10日はトマトの日」、「生にんじんプレゼント」などの店頭プロモーションをはじめとして、様々な切り口でのプロモーションを実施することで需要喚起を図ってまいります。

乳酸菌カテゴリにつきましても、引き続き植物性乳酸菌「ラブレ菌」の機能価値（便通改善・免疫力の向上）を、広くお伝えする価値伝達活動を積極的に展開するとともに、「乳酸菌の日」などの記念日に合わせたプロモーションを実施することで、新規ユーザーの獲得を目指してまいります。

##### ② 食品事業

内食需要の拡大トレンドを引き続き好機ととらえ、より一層の拡販を図ってまいります。基礎調味料での提案はもちろんのこと、昨シーズンヒット商品となりました「甘熟トマト鍋 鍋用スープ」につき、鍋メニューとしての定番化を目指してまいります。7月~8月に発売した「トマトすき焼き鍋」「トマぼん」もあわせて拡販することで、トマト味の鍋を食卓シーンに広げることにより注力してまいります。8月には、メニュー専用ソース「トマレピ！」シリーズや、パスタソースの「アンナマンマ」シリーズ、レンジ用セット米飯「押し麦ごはん」シリーズ、またハンバーグソースなどにおいても新商品を投入しておりますので、その育成を図ってまいります。既存商品につきましても、トマトケチャップのレシピコンテスト「主婦-1グランプリ」第3弾の開催などを通じ、カテゴリの活性化を図ってまいります。

##### ③ ギフト事業

飲料ギフト市場そのものの縮小という厳しい環境下にあります。健康・こだわり・本物・上質を追求したギフト、環境にやさしい紙容器ギフト、デザートギフトなどの拡大によって、贈答需要の創造形成を目指してまいります。販売面においても、中元・歳暮市場がダウントレンドの中、記念日や手土産・返礼といった新たな贈答機会を獲得し、またインターネット通販やカタログ通販など拡大する販売チャネルへの対応力を強化することで、通年でギフト事業の持続的成長を目指してまいります。

##### ④ 生鮮野菜事業

夏の酷暑がトマトの生育に悪影響を与えているという厳しい環境下にはありますが、「こくみトマト ラウンド」において、10~2月の期間限定で、トマト味の鍋メニューと連動したメニュー提案パッケージを採用し売上拡大を図ります。育成商品である「高リコピントマト」も企画提案を強化し、更なる市場定着・拡大を目指してまいります。また、事業損益の改善に引き続き取り組み、営業黒字化を目指してまいります。

##### ⑤ メディア通販事業

平成21年夏のリニューアル実施以降好調の「毎日飲む野菜」、「毎日飲む野菜と果実」を中心として、広告投資により新規のお客さまを獲得し、更なる売上拡大を図ってまいります。またシーズンや産地を訴求した飲料など、野菜と果実の魅力を追求し、健康価値にとどまらない多面的な価値を持つ商品を開発・発売してまいります。サプリメント分野につきましても、飲料に続く柱とすべく引き続き取り組んでまいります。

#### <国内業務用事業>

トマトケチャップの需要活性化に向けたオムライス・ナポリタンなどのメニュー情報発信を継続するとともに、トマトの「和」メニューや高齢者施設・病院給食向けメニューなどの開発・提案を引き続き強化してまいります。またメニュー起点で開発した新商品の定着を図るとともに、メニュー提案力や商品開発力を強化していくことで、お客様のニーズに機動的に対応できるよう努めてまいります。



## <国内その他事業>

引き続き、運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業、原材料販売などを行ってまいります。

## <海外事業>

当社グループでは課題の1つとして「関係会社の収益改善」を掲げております。海外で事業展開しておりますグループ会社につきましても、勝てるビジネスモデルを構築できるよう推進してまいります。また、平成22年4月に新設した組織「アジア事業カンパニー」において、現地市場に根差したアジア内需への事業展開を推進してまいります。

事業を譲り受けたオーストラリアのトマト加工会社・農業会社については、当社の主事業の一つである農業生産を基盤とした原料加工事業をオセアニア地区で展開し、海外での成長を目指すとともに、南半球での安定的な原料調達拠点とすべく経営を進めてまいります。なお、連結初年度にあたる平成23年3月期決算においては、のれんの償却を含めマイナスに影響する予定ですが、当社業績に与えるその影響は軽微です。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計基準等の改正に伴う変更

##### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

##### 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

#### ② 表示方法の変更

##### 四半期連結損益計算書

##### 為替差損

「為替差損」は、前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示してまいりましたが、営業外費用の総額の100分の20を超えたため区分掲記しております。

なお、前第2四半期連結累計期間における「為替差損」の金額は5百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,284	7,738
受取手形及び売掛金	31,597	24,302
有価証券	25,073	9,561
商品及び製品	9,617	7,607
仕掛品	75	30
原材料及び貯蔵品	14,095	17,284
その他	7,819	6,634
貸倒引当金	△121	△120
流動資産合計	103,441	73,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,359	13,264
機械装置及び運搬具（純額）	12,735	11,943
工具、器具及び備品（純額）	721	715
土地	11,711	11,808
リース資産（純額）	2,301	2,537
建設仮勘定	754	280
有形固定資産合計	42,584	40,549
無形固定資産		
のれん	3,483	—
ソフトウェア	1,513	1,710
その他	713	367
無形固定資産合計	5,710	2,078
投資その他の資産		
投資有価証券	13,642	13,933
その他	3,808	4,551
貸倒引当金	△159	△147
投資その他の資産合計	17,291	18,338
固定資産合計	65,586	60,965
資産合計	169,027	134,005

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,694	10,614
短期社債	20,000	—
短期借入金	2,207	3,526
1年内返済予定の長期借入金	3,068	2,941
未払金	11,243	7,787
未払法人税等	2,922	2,636
賞与引当金	1,857	1,851
役員賞与引当金	23	45
その他	5,230	2,730
流動負債合計	61,247	32,134
固定負債		
長期借入金	10,977	5,179
退職給付引当金	2,464	2,356
その他	4,659	4,915
固定負債合計	18,100	12,452
負債合計	79,348	44,586
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	48,176	45,986
自己株式	△207	△205
株主資本合計	91,687	89,499
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	160	512
繰延ヘッジ損益	△1,915	△501
為替換算調整勘定	△1,687	△1,465
評価・換算差額等合計	△3,442	△1,453
少数株主持分	1,434	1,372
純資産合計	89,679	89,418
負債純資産合計	169,027	134,005

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	94,521	98,519
売上原価	48,791	49,433
売上総利益	45,730	49,085
販売費及び一般管理費	40,423	43,007
営業利益	5,307	6,078
営業外収益		
受取利息	107	103
受取配当金	129	152
持分法による投資利益	130	62
その他	255	196
営業外収益合計	624	515
営業外費用		
支払利息	195	125
為替差損	—	77
その他	95	75
営業外費用合計	290	279
経常利益	5,640	6,315
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	—
固定資産売却益	0	12
投資有価証券売却益	—	449
特別利益合計	0	461
特別損失		
固定資産処分損	101	51
投資有価証券評価損	6	37
ゴルフ会員権評価損	2	16
特別損失合計	110	105
税金等調整前四半期純利益	5,529	6,671
法人税、住民税及び事業税	2,295	3,021
法人税等調整額	△1	1
法人税等合計	2,293	3,022
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,649
少数株主損失(△)	△37	△33
四半期純利益	3,273	3,682

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	49,324	52,242
売上原価	24,915	25,746
売上総利益	24,408	26,496
販売費及び一般管理費	21,904	23,099
営業利益	2,504	3,396
営業外収益		
受取利息	66	53
受取配当金	13	26
持分法による投資利益	8	30
その他	97	94
営業外収益合計	185	204
営業外費用		
支払利息	97	59
その他	81	46
営業外費用合計	179	106
経常利益	2,510	3,494
特別利益		
貸倒引当金戻入額	0	△13
固定資産売却益	0	11
特別利益合計	0	△1
特別損失		
固定資産処分損	94	33
投資有価証券評価損	1	37
ゴルフ会員権評価損	2	16
特別損失合計	98	87
税金等調整前四半期純利益	2,412	3,405
法人税、住民税及び事業税	1,133	1,529
法人税等調整額	△5	1
法人税等合計	1,128	1,530
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,874
少数株主損失(△)	△40	△33
四半期純利益	1,324	1,908

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,529	6,671
減価償却費	3,055	2,857
受取利息及び受取配当金	△237	△256
支払利息	195	125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	806	△20
その他の引当金の増減額 (△は減少)	180	101
持分法による投資損益 (△は益)	△130	△62
有価証券売却損益 (△は益)	—	△450
固定資産処分損	101	51
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,593	△6,622
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△487	2,407
未収入金の増減額 (△は増加)	287	△666
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,161	4,757
未払金の増減額 (△は減少)	3,105	3,175
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△314	△445
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	461	78
その他の増加額	57	150
その他の減少額	△0	△27
小計	9,178	11,824
利息及び配当金の受取額	258	184
利息の支払額	△182	△113
法人税等の支払額	△6	△2,731
法人税等の還付額	653	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,902	9,166
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△7,000	△5,000
有価証券の取得による支出	△9,985	△16,692
有価証券の売却による収入	—	1,087
固定資産の取得による支出	△1,847	△1,262
固定資産の除却による支出	△0	△0
固定資産の売却による収入	33	31
貸付けによる支出	△170	—
貸付金の回収による収入	352	—
事業譲受による支出	—	△7,147
その他の増加額	122	108
その他の減少額	△43	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,538	△28,893

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期社債の純増減額 (△は減少)	12,000	20,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△724	△1,117
長期借入れによる収入	1,730	6,600
長期借入金の返済による支出	△1,272	△1,524
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△485	△242
少数株主からの払込みによる収入	—	73
配当金の支払額	△1,478	△1,484
少数株主への配当金の支払額	△50	△44
自己株式の取得による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,715	22,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	△89
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,152	2,441
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	16
現金及び現金同等物の期首残高	16,013	12,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,165	14,728

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内外で食品の生産、製造、仕入及び販売をしております。

国内については主に製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「飲料」、「食品」、「ギフト」、「生鮮野菜」、「メディア通販」、「業務用事業」、「その他」の7つを報告セグメントとしております。

海外においては、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「米国」、「欧州」、「アジア」、「豪州」の4つを報告セグメントとしております。

国内事業においては、大きく「コンシューマー事業」と「業務用事業」に区分しております。「コンシューマー事業」は、一般の消費者を対象とした事業であり、更に以下の5つに区分しております。

「飲料」は、野菜飲料、フルーツ飲料、お茶飲料、乳酸菌などが対象となります。

「食品」は、調味料、調理食品が対象となります。

「ギフト」は、主として飲料のギフトが対象となります。

「生鮮野菜」は、各菜園での生鮮トマトの生産とその販売を行っております。

「メディア通販」は、自社通販及びネットスーパーやネット通販など他社通販チャンネルにおける飲料やサプリメント、冷凍食品などが対象となります。

「業務用事業」は、主として外食産業や食品メーカーにおける調味料、素材、飲料などが対象となります。

「その他」は、不動産事業、物流事業、原材料売却事業等が対象となります。

海外事業においては、現地法人及び社内カンパニーがそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「米国」においてはKAGOME INC. が主に外食向け調味料の製造、販売を行っております。

「欧州」においてはVegitalia S.p.A. が冷凍野菜の製造、販売を行っております。

「アジア」においては主として台湾可果美股份有限公司が台湾における調味料及び飲料の製造、販売を、可果美（杭州）食品有限公司が中国における飲料の製造、販売を行っており、それらをアジア事業カンパニーが統括しております。

「豪州」においてはKagome Australia Pty Ltd. が生トマトの生産、加工、販売を行っております。



2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	国内事業								
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メディア 通販	計			
売上高									
外部顧客に対する 売上高	50,862	14,926	5,297	3,991	3,819	78,897	11,959	988	91,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	6,092	6,092
計	50,862	14,926	5,297	3,991	3,819	78,897	11,959	7,081	97,938
セグメント利益 又は損失（△）	2,921	1,071	400	242	541	5,177	811	388	6,377

（単位：百万円）

	海外事業					調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	米国	欧州	アジア	豪州 (注2)	計		
売上高							
外部顧客に対する 売上高	5,017	535	1,120	—	6,673	—	98,519
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	150	35	—	260	△6,353	—
計	5,091	686	1,156	—	6,933	△6,353	98,519
セグメント利益 又は損失（△）	196	△363	△133	—	△299	—	6,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. みなし取得日を平成22年9月30日として、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	国内事業								
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メディア 通販	計			
売上高									
外部顧客に対する 売上高	27,926	7,478	3,106	1,626	2,318	42,456	6,120	447	49,024
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	3,313	3,313
計	27,926	7,478	3,106	1,626	2,318	42,456	6,120	3,760	52,337
セグメント利益 又は損失（△）	2,273	563	△206	△54	445	3,021	393	240	3,655

（単位：百万円）

	海外事業					調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	米国	欧州	アジア	豪州 (注2)	計		
売上高							
外部顧客に対する 売上高	2,377	254	585	—	3,217	—	52,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52	88	27	—	168	△3,481	—
計	2,429	343	612	—	3,386	△3,481	52,242
セグメント利益 又は損失（△）	4	△169	△93	—	△258	—	3,396

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. みなし取得日を平成22年9月30日として、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(減損損失)

該当事項はありません。

(のれん)

のれんに関する報告セグメント別情報

(単位：百万円)

	国内事業								
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	メディア 通販	計			
当四半期 償却額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
当四半期末 残高	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

	海外事業					調整額	四半期 連結 財務諸表 計上額
	米国	欧州	アジア (注1)	豪州 (注2)	計		
当四半期 償却額	—	—	△8	—	△8	—	△8
当四半期末 残高	—	—	120	3,363	3,483	—	3,483

(注) 1. 可果美(杭州)食品有限公司の増資に伴い発生したものであります。

2. オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであるセデンコ・オーストラリア社及び同社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社の事業譲受けに伴い発生したものであります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等関係

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

取得による企業結合

当社は、オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであったセデンコ・オーストラリア社、及び当該会社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社の事業を平成22年7月30日付で譲受けました。その概要は以下のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1) 相手企業の名称

セデンコ・オーストラリア社及びSSファームズ社

(2) 取得した事業の内容

オーストラリアにおける生トマト栽培・加工・販売事業

(3) 企業結合を行った主な理由

- ・当社の主事業のひとつである農業生産を基盤とした原料加工事業をオセアニア地区で展開し、海外での成長を目指すため。
- ・食料資源環境・食の安全への対応、当社の強みである『畑からの品質づくり』を強化するため、平成19年のポルトガルのトマト加工会社への出資に続き、南半球での原料生産拠点を確保するため。

(4) 企業結合日

平成22年7月30日

(5) 企業結合の法的形式

事業譲受け

2. 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

平成22年9月30日をみなし取得日としているため、取得した事業の業績は四半期連結損益計算書に含まれておりません。

3. 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	93百万豪ドル	( 7,278百万円)
取得に直接要した費用	3百万豪ドル	( 245百万円)
取得原価	96百万豪ドル	( 7,524百万円)

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

43百万豪ドル (3,363百万円)

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産 28百万豪ドル ( 2,193百万円)

固定資産 28百万豪ドル ( 2,250百万円)

---

資産合計 56百万豪ドル ( 4,443百万円)

流動負債 3百万豪ドル ( 270百万円)

固定負債 0百万豪ドル ( 11百万円)

---

負債合計 3百万豪ドル ( 282百万円)

6. 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

概算額の算定が困難であり、試算していません。

### (8) 重要な後発事象

当第2四半期連結会計期間（自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日）

#### 増資引受けによる特定子会社の異動

当社は、平成22年10月15日開催の取締役会において、以下のとおり、Kagome Australia Pty Ltd. の増資を引き受けることを決議いたしました。これにより、同社の資本金額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、同社は当社の特定子会社となります。

#### 1. 増資引受の理由

当社は、オーストラリア最大手の生トマト加工・販売メーカーであったセデンコ・オーストラリア社、及び当該会社に供給するトマトを栽培するSSファームズ社の事業を平成22年7月30日付で譲受けました。当該事業譲受けを行うため、セデンコ・オーストラリア社の事業譲受け会社として「Cedenco Australia Pty Ltd.（旧会社名 Echuca Newco Pty Ltd.）」及びSSファームズ社の事業譲受け会社「Cedenco Farms Pty Ltd.（旧会社名 Echuca Newco Farms Pty Ltd.）」を設立し、また、当該2社の株式を100%保有し、オーストラリアにおける上記2社の経営管理業務を担う統括会社として、当社100%出資にて「Kagome Australia Pty Ltd.」を設立しました。

Kagome Australia Pty Ltd. は事業譲受け契約締結の際に契約者として必要のため設立したもので、当初の資本金は暫定的に必要最低額としましたが、買収資金が確定し同社の資本構成の見直しを行い、同社の増資を100%引き受けることを決議いたしました。

#### 2. 特定子会社の概要

(1) 名称	Kagome Australia Pty Ltd.	
(2) 所在地	オーストラリア ビクトリア州 エチューカ市	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 深谷 潔	
(4) 事業内容	オーストラリアにおける生トマト加工・販売メーカーである Cedenco Australia Pty Ltd. 及び同社に供給するトマトを栽培する Cedenco Farms Pty Ltd. の経営管理業務を担う統括会社	
(5) 資本金	Au\$2（増資前）	
(6) 設立年月日	平成22年6月18日	
(7) 議決権の所有割合	100%	
(8) 当社との関係	資本関係	当該会社は、当社の100%子会社であります。
	人的関係	当社は、当該会社に役員及び従業員を派遣しております。
	取引関係	当社は、当該会社に対して資金の貸付等を行っております。

#### 3. 異動の前後における特定子会社への出資額

区分		出資額	議決権の所有割合
異動前（普通株式）		Au\$2	100%
異動後	（普通株式）	Au\$38,000,000	100%
	（優先株式）	Au\$60,000,000	—

#### 4. 増資の日程

取締役会決議日 平成22年10月15日

増資完了予定日 平成22年10月29日（予定）

#### 4. (参考) ハイライト情報

##### (1) 主要な経営指標の推移

【連結経営指標等】

決算年月	平成21年9月	平成22年9月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月 予想
会計期間	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日	自 平成21年 4月1日 至 平成22年 3月31日	自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日
売上高 (百万円)	94,521	98,519	175,134	171,937	180,000
売上高伸び率 (%)	△3.7	4.2	△12.6	△1.8	4.7
営業利益 (百万円)	5,307	6,078	4,447	6,397	6,900
売上高営業利益率 (%)	5.6	6.2	2.5	3.7	3.8
経常利益 (百万円)	5,640	6,315	4,249	7,304	7,300
売上高経常利益率 (%)	6.0	6.4	2.4	4.2	4.1
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (百万円)	5,529	6,671	2,262	5,948	7,400
売上高税金等調整前四半期 (当期) 純利益率 (%)	5.9	6.8	1.3	3.5	4.1
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	3,273	3,682	2,000	2,981	4,000
売上高四半期 (当期) 純利益率 (%)	3.5	3.7	1.1	1.7	2.2
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	32.91	37.02	20.09	29.97	40.21
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (%)	3.8	4.2	2.3	3.4	—
総資産経常利益率 (%)	3.7	4.2	3.0	5.3	—
総資産 (百万円)	164,242	169,027	140,938	134,005	—
純資産 (百万円)	89,352	89,679	87,707	89,418	—
自己資本比率 (%)	53.5	52.2	61.1	65.7	—
1株当たり純資産 (円)	883.28	887.17	866.10	885.16	—
四半期 (期末) 株価 (円)	1,814	1,616	1,426	1,596	—
株価収益率 (倍)	55.1	43.7	71.0	53.3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	9,902	9,166	4,137	15,230	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△18,538	△28,893	△5,431	△6,458	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	9,715	22,257	4,433	△12,544	—
現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高 (百万円)	17,165	14,728	16,013	12,270	—
従業員数 (名)	2,091	2,113	2,038	2,031	2,010
〔外、平均臨時雇用者数〕	[1,254]	[1,411]	[1,249]	[1,250]	—
固定投資額 (注1) (百万円)	1,155	1,122	3,794	2,604	3,000
〔うち有形固定資産〕	[916]	[1,017]	[3,139]	[2,038]	[2,700]
減価償却費 (百万円)	3,055	2,857	7,079	6,142	6,000
〔うち有形固定資産〕	[2,732]	[2,523]	[6,527]	[5,450]	[5,100]
研究開発費 (百万円)	1,269	1,261	2,541	2,577	2,700
広告宣伝費 (百万円)	3,421	3,943	6,784	5,326	6,800
期中米ドル決済レート (注2) (円)	96.2	95.0	102.6	96.4	—

(注) 1. 上記固定投資額には、セデンコ・オーストラリア社及びSSファームズ社の事業を譲受けたことによる固定資産の増加28百万豪ドル(2,250百万円)は含まれておりません。

2. 当社の決済レートを記載しております。

## (2) 当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第2四半期 累計期間 (百万円)	当第2四半期 累計期間 (百万円)	増減率
----------	------------------	------------------	--	-------------------------	-------------------------	-----

## 当社

カゴメ㈱ 食品製造販売業	19,985百万円 3月	—	売上高	87,044	90,449	+3.9%
			営業利益	5,366	5,951	+10.9%
			四半期純利益	3,512	3,901	+11.1%
			総資産	152,250	156,958	+3.1%
			純資産	88,947	87,194	△2.0%

## 連結子会社

カゴメ不動産㈱ 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	435	430	△1.1%
			営業利益	119	122	+2.6%
			四半期純利益	75	77	+3.2%
			総資産	3,083	3,177	+3.1%
			純資産	2,300	2,405	+4.6%
カゴメ物流サービス㈱ 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業	80百万円 2月	100%	売上高	6,501	6,620	+1.8%
			営業利益	144	154	+6.9%
			四半期純利益	83	90	+7.8%
			総資産	3,905	3,975	+1.8%
			純資産	2,230	2,271	+1.9%
KAGOME INC. 食品製造販売業 (注1)	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	5,784 [60,586千米ドル]	5,091 [55,730千米ドル]	△12.0% [△8.0%]
			営業利益	235 [2,464千米ドル]	166 [1,818千米ドル]	△29.4% [△26.2%]
			四半期純利益	146 [1,534千米ドル]	109 [1,198千米ドル]	△25.3% [△21.9%]
			総資産	6,389 [66,552千米ドル]	5,861 [66,243千米ドル]	△8.3% [△0.5%]
			純資産	3,557 [37,057千米ドル]	3,492 [39,468千米ドル]	△1.8% [+6.5%]
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.40%	売上高	718 [252百万台湾ドル]	896 [312百万台湾ドル]	+24.7% [+23.9%]
			営業利益	11 [4百万台湾ドル]	76 [26百万台湾ドル]	+549.1% [+544.5%]
			四半期純利益	11 [3百万台湾ドル]	65 [22百万台湾ドル]	+472.6% [+468.5%]
			総資産	2,233 [765百万台湾ドル]	2,076 [755百万台湾ドル]	△7.0% [△1.3%]
			純資産	1,911 [654百万台湾ドル]	1,816 [660百万台湾ドル]	△5.0% [+0.9%]
加太菜園㈱ 農産物の生産・販売	90百万円 2月	70.00%	売上高	419	418	△0.2%
			営業利益	70	66	△6.5%
			四半期純利益	58	54	△7.0%
			総資産	1,744	1,575	△9.7%
			純資産	△478	△494	—
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業 (注2)	25.1百万 米ドル 12月	70.24%	売上高	174 [12百万円]	259 [19百万円]	+48.7% [+55.2%]
			営業利益	△151 [△10百万円]	△201 [△15百万円]	— [—]
			四半期純利益	△143 [△10百万円]	△215 [△16百万円]	— [—]
			総資産	717 [51百万円]	1,340 [102百万円]	+86.9% [+101.6%]
			純資産	456 [32百万円]	728 [55百万円]	+59.5% [+71.9%]



名称及び事業内容	資本金及び決算期	議決権の所有割合		前第2四半期累計期間 (百万円)	当第2四半期累計期間 (百万円)	増減率
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売	50百万円 2月	66.00%	売上高	460	650	+41.5%
			営業利益	△59	58	—
			四半期純利益	△95	37	—
			総資産	2,064	2,375	+15.0%
			純資産	△805	△805	—
ケイ・エイチ デリカ(株) 惣菜店の経営	50百万円 2月	60.00%	売上高	38	54	+41.4%
			営業利益	△7	△14	—
			四半期純利益	△7	△14	—
			総資産	37	69	+88.3%
			純資産	29	9	△69.8%
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業	13百万ユーロ 12月	100%	売上高	638 [5,019千ユーロ]	686 [5,656千ユーロ]	+7.5% [+12.7%]
			営業利益	△395 [△3,106千ユーロ]	△363 [△2,993千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△370 [△2,911千ユーロ]	△348 [△2,874千ユーロ]	— [—]
			総資産	5,366 [39,593千ユーロ]	2,212 [20,319千ユーロ]	△58.8% [△48.7%]
			純資産	1,143 [8,439千ユーロ]	△713 [△6,620千ユーロ]	— [—]
いわき小名浜菜園(株) 農産物の生産・販売 (注3)	10百万円 2月	49.00%	売上高	766	739	△3.4%
			営業利益	80	△3	—
			四半期純利益	47	△30	—
			総資産	2,472	2,248	△9.1%
			純資産	△1,533	△1,610	—
Kagome Australia Pty Ltd. 食品製造販売業 (注4)	0百万豪ドル 12月	100%	売上高	— [—]	— [—]	— [—]
			営業利益	— [—]	— [—]	— [—]
			四半期純利益	— [—]	— [—]	— [—]
			総資産	— [—]	8,325 [106百万豪ドル]	— [—]
			純資産	— [—]	0 [0百万豪ドル]	— [—]

持分法適用会社（関連会社）

世羅菜園(株) 農産物の生産・販売	85百万円 2月	47.06%	売上高	534	548	+2.6%
			営業利益	150	119	△20.1%
			四半期純利益	154	70	△54.7%
			総資産	1,693	1,423	△15.9%
			純資産	201	89	△55.8%
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. 食品製造販売業	550千ユーロ 12月	43.00%	売上高	3,369 [26,493千ユーロ]	3,133 [25,830千ユーロ]	△7.0% [△2.5%]
			営業利益	△7 [△59千ユーロ]	16 [132千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	64 [509千ユーロ]	58 [484千ユーロ]	△9.5% [△5.1%]
			総資産	6,125 [45,196千ユーロ]	5,703 [52,902千ユーロ]	△6.9% [+17.0%]
			純資産	1,206 [8,903千ユーロ]	1,367 [12,688千ユーロ]	+13.4% [+42.5%]

- (注) 1. KAGOME INC. の業績は、同子会社の内蒙古可果美食品有限公司及びKAGOME CREATIVE FOODS INC. を連結しております。
2. 当社は、平成22年6月に可果美（杭州）食品有限公司へ7.2百万米ドルの増資をしております。
3. いわき小名浜菜園(株)は、平成22年3月に、従来の普通株式10百万円から普通株式1百万円、優先株式9百万円に資本構成を変更いたしました。普通株式の議決権の所有割合は従来と変わりませんが、優先株式を当社が全て引き受けたため、当連結会計年度より連結子会社としております。
4. 当社は、平成22年10月15日開催の取締役会において、Kagome Australia Pty Ltd. による98百万豪ドルの増資を引き受けることを決議いたしました。増資引受額の内訳は、普通株式が38百万豪ドル、優先株式が60百万豪ドルで、増資完了予定日は、平成22年10月29日であります。この結果、同社の資本金額は98百万豪ドル(日本会計基準)となり、当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、同社は当社の特定子会社となる予定です。

## (3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I 流 動 資 産								
現金及び預金		11,370		15,284		3,913	7,738	
受取手形及び売掛金		29,646		31,597		1,950	24,302	
有価証券		22,801		25,073		2,271	9,561	
商品及び製品		7,857		9,617		1,760	7,607	
仕掛品		31		75		44	30	
原材料及び貯蔵品		17,394		14,095		△ 3,299	17,284	
その他		10,069		7,819		△ 2,249	6,634	
貸倒引当金		△ 119		△ 121		△ 2	△ 120	
流動資産合計		99,052	60.3	103,441	61.2	4,389	73,039	54.5
II 固 定 資 産								
有形固定資産								
建物及び構築物(純額)		14,278		14,359		81	13,264	
機械装置及び運搬具(純額)		13,652		12,735		△ 916	11,943	
工具、器具及び備品(純額)		782		721		△ 61	715	
土地		11,881		11,711		△ 170	11,808	
リース資産(純額)		2,794		2,301		△ 492	2,537	
建設仮勘定		236		754		517	280	
有形固定資産合計		43,626	26.6	42,584	25.2	△ 1,042	40,549	30.3
無形固定資産								
のれん		186		3,483		3,297	—	
ソフトウェア		1,722		1,513		△ 209	1,710	
その他		402		713		311	367	
無形固定資産合計		2,311	1.4	5,710	3.4	3,399	2,078	1.5
投資その他の資産								
投資有価証券		14,080		13,642		△ 437	13,933	
その他		5,306		3,808		△ 1,498	4,551	
貸倒引当金		△ 134		△ 159		△ 25	△ 147	
投資その他の資産合計		19,253	11.7	17,291	10.2	△ 1,961	18,338	13.7
固定資産合計		65,190	39.7	65,586	38.8	395	60,965	45.5
資産合計		164,242	100.0	169,027	100.0	4,785	134,005	100.0

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	金 額
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支払手形及び買掛金		14,243		14,694		451	10,614	
短期社債		20,000		20,000		—	—	
短期借入金		2,633		2,207		△ 426	3,526	
一年内返済予定の長期借入金		2,746		3,068		322	2,941	
未払金		10,353		11,243		889	7,787	
未払法人税等		2,356		2,922		566	2,636	
賞与引当金		1,859		1,857		△ 2	1,851	
役員賞与引当金		23		23		0	45	
その他		4,904		5,230		326	2,730	
流動負債合計		59,119	36.0	61,247	36.2	2,128	32,134	24.0
II 固 定 負 債								
長期借入金		6,879		10,977		4,097	5,179	
退職給付引当金		2,549		2,464		△ 85	2,356	
その他		6,341		4,659		△ 1,682	4,915	
固定負債合計		15,770	9.6	18,100	10.7	2,329	12,452	9.3
負債合計		74,890	45.6	79,348	46.9	4,457	44,586	33.3
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資本金		19,985	12.2	19,985	11.8	—	19,985	14.9
資本剰余金		23,733	14.4	23,733	14.0	—	23,733	17.7
利益剰余金		46,278	28.2	48,176	28.5	1,898	45,986	34.3
自己株式		△ 203	△ 0.1	△ 207	△ 0.1	△ 4	△ 205	△ 0.1
株主資本合計		89,793	54.7	91,687	54.2	1,894	89,499	66.8
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金		807	0.5	160	0.1	△ 646	512	0.4
繰延ヘッジ損益		△ 1,505	△ 0.9	△ 1,915	△ 1.1	△ 410	△ 501	△ 0.4
為替換算調整勘定		△ 1,235	△ 0.8	△ 1,687	△ 1.0	△ 452	△ 1,465	△ 1.1
評価・換算差額等合計		△ 1,933	△ 1.2	△ 3,442	△ 2.0	△ 1,509	△ 1,453	△ 1.1
III 少 数 株 主 持 分		1,492	0.9	1,434	0.9	△ 57	1,372	1.0
純 資 産 合 計		89,352	54.4	89,679	53.1	327	89,418	66.7
負債純資産合計		164,242	100.0	169,027	100.0	4,785	134,005	100.0

## (4) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		増 減		前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売 上 高	94,521	100.0	98,519	100.0	3,997	4.2	171,937	100.0
II 売 上 原 価	48,791	51.6	49,433	50.2	642		90,932	52.9
売 上 総 利 益	45,730	48.4	49,085	49.8	3,354	7.3	81,005	47.1
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	40,423	42.8	43,007	43.6	2,583		74,608	43.4
営 業 利 益	5,307	5.6	6,078	6.2	771	14.5	6,397	3.7
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	107		103		△ 3		235	
受 取 配 当 金	129		152		22		277	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	130		62		△ 68		245	
そ の 他	255		196		△ 58		719	
営 業 外 収 益 合 計	624	0.7	515	0.5	△ 108		1,478	0.8
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	195		125		△ 70		359	
為 替 差 損	5		77		72		43	
そ の 他	89		75		△ 14		168	
営 業 外 費 用 合 計	290	0.3	279	0.3	△ 11		571	0.3
経 常 利 益	5,640	6.0	6,315	6.4	674	12.0	7,304	4.2
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0		—		△ 0		1	
固 定 資 産 売 却 益	0		12		12		135	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		449		449		—	
特 別 利 益 合 計	0	0.0	461	0.5	461		136	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	101		51		△ 50		146	
減 損 損 失	—		—		—		1,324	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6		37		30		7	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2		16		14		14	
特 別 損 失 合 計	110	0.1	105	0.1	△ 5		1,491	0.8
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	5,529	5.9	6,671	6.8	1,141	20.6	5,948	3.5
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,295		3,021		726		2,927	
法 人 税 等 調 整 額	△ 1		1		2		167	
法 人 税 等 合 計	2,293	2.4	3,022	3.1	728		3,094	1.9
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,236	3.5	3,649	3.7	412	12.8	2,854	1.6
少 数 株 主 損 失 ( △ ) ( 控 除 )	△ 37	△ 0.0	△ 33	△ 0.0	3		△ 126	△ 0.1
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,273	3.5	3,682	3.7	409	12.5	2,981	1.7
少 数 株 主 損 失 ( △ ) ( 加 算 )	△ 37		△ 33		3		△ 126	
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	3,236	3.5	3,649	3.7	412	12.8	2,854	1.6
そ の 他 の 包 括 利 益 :								
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,033		△ 352		△ 1,385		739	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 1,594		△ 1,414		180		△ 590	
為 替 換 算 調 整 勘 定	486		△ 161		△ 647		238	
持 分 法 適 用 会 社 に 対 す る 持 分 相 当 額	28		△ 129		△ 158		17	
そ の 他 の 包 括 利 益 合 計	△ 45	△ 0.1	△ 2,057	△ 2.1	△ 2,011	—	404	0.3
包 括 利 益	3,190	3.4	1,591	1.6	△ 1,599	△ 50.1	3,258	1.9
( 内 訳 )								
親 会 社 株 主 に 係 る 包 括 利 益	3,202	3.4	1,693	1.7	△ 1,509	△ 47.1	3,390	2.0
少 数 株 主 に 係 る 包 括 利 益	△ 12	△ 0.0	△ 102	△ 0.1	△ 89	—	△ 131	△ 0.1

(注) この四半期連結損益及び包括利益計算書は、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位: 百万円、%)

科 目	期 別		前第2四半期 連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)		増 減	
			金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
I 売 上 高			49,324	100.0	52,242	100.0	2,917	5.9
II 売 上 原 価			24,915	50.5	25,746	49.3	830	
売 上 総 利 益			24,408	49.5	26,496	50.7	2,087	8.6
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			21,904	44.4	23,099	44.2	1,195	
営 業 利 益			2,504	5.1	3,396	6.5	891	35.6
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息			66		53		△ 12	
受 取 配 当 金			13		26		12	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益			8		30		22	
そ の 他			97		94		△ 3	
営 業 外 収 益 合 計			185	0.4	204	0.4	19	
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息			97		59		△ 38	
そ の 他			81		46		△ 35	
営 業 外 費 用 合 計			179	0.4	106	0.2	△ 73	
経 常 利 益			2,510	5.1	3,494	6.7	984	39.2
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額			0		△ 13		△ 0	
固 定 資 産 売 却 益			0		11		11	
特 別 利 益 合 計			0	0.0	△ 1	△ 0.0	△ 1	
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損			94		33		△ 60	
投 資 有 価 証 券 評 価 損			1		37		35	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損			2		16		14	
特 別 損 失 合 計			98	0.2	87	0.2	△ 10	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益			2,412	4.9	3,405	6.5	992	41.1
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税			1,133		1,529		395	
法 人 税 等 調 整 額			△ 5		1		6	
法 人 税 等 合 計			1,128	2.2	1,530	2.8	402	
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益			1,284	2.7	1,874	3.7	589	
少 数 株 主 損 失 (△) (控 除)			△ 40	△ 0.0	△ 33	△ 0.0	6	
四 半 期 純 利 益			1,324	2.7	1,908	3.7	583	44.1
少 数 株 主 損 失 (△) (加 算)			△ 40		△ 33		6	
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益			1,284	2.7	1,874	3.7	589	45.9
そ の 他 の 包 括 利 益 :								
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金			533		26		△ 506	
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益			△ 1,003		△ 390		612	
為 替 換 算 調 整 勘 定			△ 1		△ 292		△ 290	
持 分 法 適 用 会 社 に 対 す る 持 分 相 当 額			21		△ 92		△ 113	
そ の 他 の 包 括 利 益 合 計			△ 450	△ 1.0	△ 748	△ 1.5	△ 298	—
包 括 利 益			834	1.7	1,125	2.2	291	35.0
(内 訳)								
親 会 社 株 主 に 係 る 包 括 利 益			860	1.7	1,261	2.4	400	46.6
少 数 株 主 に 係 る 包 括 利 益			△ 26	△ 0.0	△ 135	△ 0.2	△ 109	—

(注) この四半期連結損益及び包括利益計算書は、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (5) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
株 主 資 本				
資 本 金				
前 期 末 残 高		19,985	19,985	19,985
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		—	—	—
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		19,985	19,985	19,985
資 本 剰 余 金				
前 期 末 残 高		23,733	23,733	23,733
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		—	—	—
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		23,733	23,733	23,733
利 益 剰 余 金				
前 期 末 残 高		44,496	45,986	44,496
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△ 1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		3,273	3,682	2,981
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		1,781	2,190	1,489
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		46,278	48,176	45,986
自 己 株 式				
前 期 末 残 高		△ 200	△ 205	△ 200
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
自 己 株 式 の 取 得		△ 2	△ 2	△ 4
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		△ 2	△ 2	△ 4
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		△ 203	△ 207	△ 205
株 主 資 本 合 計				
前 期 末 残 高		88,014	89,499	88,014
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△ 1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		3,273	3,682	2,981
自 己 株 式 の 取 得		△ 2	△ 2	△ 4
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		1,778	2,188	1,484
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		89,793	91,687	89,499
評 価 ・ 換 算 差 額 等				
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金				
前 期 末 残 高		△ 225	512	△ 225
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株 主 資 本 以 外 の 項 目 の 四 半 期 連 結 累 計 期 間 ( 当 期 ) 中 の 変 動 額 ( 純 額 )		1,032	△ 352	738
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		1,032	△ 352	738
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		807	160	512

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
繰 延 へ ッ ジ 損 益				
前 期 末 残 高		89	△ 501	89
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		△ 1,594	△ 1,414	△ 590
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		△ 1,594	△ 1,414	△ 590
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		△ 1,505	△ 1,915	△ 501
為 替 換 算 調 整 勘 定				
前 期 末 残 高		△ 1,727	△ 1,465	△ 1,727
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		491	△ 222	261
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		491	△ 222	261
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		△ 1,235	△ 1,687	△ 1,465
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計				
前 期 末 残 高		△ 1,862	△ 1,453	△ 1,862
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		△ 70	△ 1,989	409
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		△ 70	△ 1,989	409
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		△ 1,933	△ 3,442	△ 1,453
少 数 株 主 持 分				
前 期 末 残 高		1,555	1,372	1,555
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		△ 63	61	△ 182
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		△ 63	61	△ 182
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		1,492	1,434	1,372
純 資 産 合 計				
前 期 末 残 高		87,707	89,418	87,707
四半期連結累計期間(当期)中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△ 1,492	△ 1,492	△ 1,492
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		3,273	3,682	2,981
自 己 株 式 の 取 得		△ 2	△ 2	△ 4
株主資本以外の項目の四半期 連結累計期間(当期)中の変動額(純額)		△ 133	△ 1,927	226
四半期連結累計期間(当期)中の変動額合計		1,644	261	1,710
四 半 期 ( 当 期 ) 末 残 高		89,352	89,679	89,418

## (6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別		増減	前連結会計年度	
	前第 2 四半期 連結累計期間	当第 2 四半期 連結累計期間		(自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)	(自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)
	金 額	金 額		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー					
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	5,529	6,671	1,141	5,948	
2 減価償却費	3,055	2,857	△ 197	6,142	
3 減損損失	—	—	—	1,324	
4 受取利息及び受取配当金	△ 237	△ 256	△ 18	△ 512	
5 支払利息	195	125	△ 70	359	
6 賞与引当金の増減額(△は減少)	806	△ 20	△ 827	821	
7 その他の引当金の増減額(△は減少)	180	101	△ 78	△ 7	
8 持分法による投資損益(△は益)	△ 130	△ 62	68	△ 245	
9 有価証券売却損益(△は益)	—	△ 450	△ 450	—	
10 固定資産処分損	101	51	△ 50	146	
11 売上債権の増減額(△は増加)	△ 5,593	△ 6,622	△ 1,028	△ 266	
12 たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 487	2,407	2,894	△ 279	
13 未収入金の増減額(△は増加)	287	△ 666	△ 954	975	
14 仕入債務の増減額(△は減少)	2,161	4,757	2,595	△ 550	
15 未払金の増減額(△は減少)	3,105	3,175	70	502	
16 その他の流動資産の増減額(△は増加)	△ 314	△ 445	△ 130	△ 33	
17 その他の流動負債の増減額(△は減少)	461	78	△ 382	349	
18 その他の増加額	57	150	93	347	
19 その他の減少額	△ 0	△ 27	△ 27	△ 135	
小 計	9,178	11,824	2,645	14,886	
20 利息及び配当金の受取額	258	184	△ 73	481	
21 利息の支払額	△ 182	△ 113	68	△ 364	
22 法人税等の支払額	△ 6	△ 2,731	△ 2,725	△ 450	
23 法人税等の還付額	653	1	△ 652	677	
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,902	9,166	△ 736	15,230	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
1 定期預金の預入による支出	△ 7,000	△ 5,000	2,000	△ 12,000	
2 定期預金の払戻による収入	—	—	—	7,000	
3 有価証券の取得による支出	△ 9,985	△ 16,692	△ 6,707	△ 31,630	
4 有価証券の売却による収入	—	1,087	1,087	31,500	
5 固定資産の取得による支出	△ 1,847	△ 1,262	584	△ 3,096	
6 固定資産の除却による支出	△ 0	△ 0	0	△ 1	
7 固定資産の売却による収入	33	31	△ 1	198	
8 貸付けによる支出	△ 170	—	170	△ 255	
9 貸付金の回収による収入	352	—	△ 352	2,171	
10 事業譲受による支出	—	△ 7,147	△ 7,147	—	
11 その他の増加額	122	108	△ 13	187	
12 その他の減少額	△ 43	△ 18	24	△ 531	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,538	△ 28,893	△ 10,354	△ 6,458	



(単位：百万円)

項 目	期 別	前第 2 四半期 連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)	当第 2 四半期 連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	増減	前連結会計年度 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成22年 3 月 31 日)
		金 額	金 額	金 額	金 額
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
1 短期社債の純増減額(△は減少)		12,000	20,000	8,000	△ 8,000
2 短期借入金の純増減額(△は減少)	△	724	1,117	△ 393	273
3 長期借入れによる収入		1,730	6,600	4,870	1,730
4 長期借入金の返済による支出	△	1,272	1,524	△ 251	△ 2,722
5 ファイナンス・リース債務の返済による支出	△	485	242	243	△ 2,283
6 少数株主からの払込みによる収入		—	73	73	—
7 配当金の支払額	△	1,478	1,484	△ 5	△ 1,485
8 少数株主への配当金の支払額	△	50	44	6	△ 50
9 自己株式の取得による支出	△	2	2	0	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー		9,715	22,257	12,542	△ 12,544
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		73	△ 89	△ 163	29
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		1,152	2,441	1,288	△ 3,742
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	16	16	—
VII 現金及び現金同等物の期首残高		16,013	12,270	△ 3,742	16,013
VIII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高		17,165	14,728	△ 2,436	12,270

## (7) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	2,113	2.2	2,653	2.7	539	25.5	3,957	2.3
販 売 促 進 費	17,403	18.4	19,093	19.4	1,690	9.7	31,907	18.6
広 告 宣 伝 費	3,421	3.6	3,943	4.0	522	15.3	5,326	3.1
運 賃 ・ 保 管 料	4,843	5.1	4,931	5.0	87	1.8	8,673	5.0
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	21	0.0	13	0.0	△ 8	△ 38.5	41	0.0
人 件 費	7,121	7.5	7,182	7.3	61	0.9	13,988	8.1
減 価 償 却 費	889	0.9	846	0.9	△ 43	△ 4.9	1,826	1.1
そ の 他	4,607	4.9	4,343	4.3	△ 264	△ 5.7	8,887	5.2
合 計	40,423	42.8	43,007	43.6	2,583	6.4	74,608	43.4

(注) 百分比は、売上高に対する割合です。

## (8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	商 品 及 び 製 品	32	39
原 材 料	61	50	151
輸 入 雑 損 失 等	40	42	136
合 計	133	132	373

## (9) 支払利息明細

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前連結会計年度 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
	支 払 利 息	139	109
リ ー ス 支 払 利 息	55	15	108
合 計	195	125	359

(10) 有価証券関係

前第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,793	11,149	1,355
その他	29	27	△ 1
計	9,822	11,176	1,354

当第2四半期連結会計期間末(平成22年9月30日)

満期保有目的の債券で時価のあるもの及びその他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)
社債	6,609	6,616	7
計	6,609	6,616	7

2. その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,919	10,216	297
その他	23	23	—
計	9,942	10,239	297

前連結会計年度末(平成22年3月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	9,994	10,837	842
その他	28	28	△ 0
計	10,023	10,865	842

## (11) セグメント別売上高

事業の種類		前第2四半期 連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		増 減		前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
飲料	外部顧客に対するもの	48,825		50,862		2,036	4.2	84,085	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	48,825	48.1	50,862	48.5	2,036	4.2	84,085	45.5
食品	外部顧客に対するもの	14,221		14,926		704	5.0	28,781	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	14,221	14.1	14,926	14.2	704	5.0	28,781	15.6
ギフト	外部顧客に対するもの	5,150		5,297		147	2.9	7,429	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	5,150	5.1	5,297	5.1	147	2.9	7,429	4.0
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	3,540		3,991		450	12.7	6,485	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	3,540	3.5	3,991	3.8	450	12.7	6,485	3.5
メディア 通販	外部顧客に対するもの	3,408		3,819		411	12.1	6,421	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	3,408	3.4	3,819	3.6	411	12.1	6,421	3.5
消費者事業計	外部顧客に対するもの	75,146		78,897		3,751	5.0	133,202	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	75,146	74.2	78,897	75.2	3,751	5.0	133,202	72.1
業務用事業	外部顧客に対するもの	11,792		11,959		167	1.4	23,406	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	11,792	11.7	11,959	11.4	167	1.4	23,406	12.6
その他	外部顧客に対するもの	923		988		65	7.0	1,727	
	セグメント間取引	6,041		6,092		51		10,809	
	計	6,965	6.9	7,081	6.8	116	1.7	12,536	6.8
国内 事業計	外部顧客に対するもの	87,862		91,845		3,983	4.5	158,336	
	セグメント間取引	6,041		6,092		51		10,809	
	計	93,903	92.8	97,938	93.4	4,034	4.3	169,146	91.5
米国	外部顧客に対するもの	5,399		5,017		△ 381	△ 7.1	10,921	
	セグメント間取引	385		73		△ 311		1,627	
	計	5,784	5.7	5,091	4.9	△ 692	△ 12.0	12,548	6.8
欧州	外部顧客に対するもの	379		535		155	41.0	732	
	セグメント間取引	258		150		△ 107		445	
	計	638	0.6	686	0.6	47	7.5	1,177	0.6
アジア	外部顧客に対するもの	880		1,120		239	27.2	1,947	
	セグメント間取引	12		35		23		36	
	計	893	0.9	1,156	1.1	262	29.4	1,984	1.1
豪州	外部顧客に対するもの	—		—		—	—	—	
	セグメント間取引	—		—		—	—	—	
	計	—	—	—	—	—	—	—	—
海外 事業計	外部顧客に対するもの	6,659		6,673		13	0.2	13,600	
	セグメント間取引	656		260		△ 395		2,110	
	計	7,315	7.2	6,933	6.6	△ 382	△ 5.2	15,711	8.5
セグメント売上高		101,219	100.0	104,872	100.0	3,652	3.6	184,857	100.0
セグメント間取引		△ 6,697	—	△ 6,353	—	344		△ 12,919	—
連結売上高		94,521	—	98,519	—	3,997	4.2	171,937	—

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
伊藤忠商事(株)	21,023	22.2	22,402	22.7	37,199	21.6

3. 前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、当第2四半期連結累計期間の表示に組替えております。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

事業の種類		前第2四半期 連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)		増減	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
飲料	外部顧客に対するもの	25,908		27,926		2,017	7.8
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	25,908	49.0	27,926	50.1	2,017	7.8
食品	外部顧客に対するもの	7,177		7,478		301	4.2
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	7,177	13.6	7,478	13.4	301	4.2
ギフト	外部顧客に対するもの	2,931		3,106		175	6.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	2,931	5.6	3,106	5.6	175	6.0
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	1,260		1,626		365	29.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	1,260	2.4	1,626	2.9	365	29.0
メディア 通販	外部顧客に対するもの	2,160		2,318		158	7.3
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	2,160	4.1	2,318	4.2	158	7.3
消費者事業計		39,438		42,456		3,017	7.7
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	39,438	74.7	42,456	76.2	3,017	7.7
業務用事業	外部顧客に対するもの	6,050		6,120		70	1.2
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	6,050	11.4	6,120	11.0	70	1.2
その他	外部顧客に対するもの	444		447		3	0.7
	セグメント間取引	3,229		3,313		83	
	計	3,673	6.9	3,760	6.7	87	2.4
国内事業計		45,932		49,024		3,091	6.7
	セグメント間取引	3,229		3,313		83	
	計	49,161	93.0	52,337	93.9	3,175	6.5
米国	外部顧客に対するもの	2,720		2,377		△ 342	△ 12.6
	セグメント間取引	140		52		△ 88	
	計	2,861	5.4	2,429	4.4	△ 431	△ 15.1
欧州	外部顧客に対するもの	203		254		51	25.1
	セグメント間取引	159		88		△ 70	
	計	363	0.7	343	0.6	△ 19	△ 5.3
アジア	外部顧客に対するもの	467		585		117	25.1
	セグメント間取引	12		27		15	
	計	480	0.9	612	1.1	132	27.6
豪州	外部顧客に対するもの	—		—		—	—
	セグメント間取引	—		—		—	—
	計	—	—	—	—	—	—
海外事業計		3,392		3,217		△ 174	△ 5.1
	セグメント間取引	312		168		△ 143	
	計	3,704	7.0	3,386	6.1	△ 318	△ 8.6
セグメント売上高		52,866	100.0	55,724	100.0	2,857	5.4
セグメント間取引		△ 3,541	—	△ 3,481	—	59	
連結売上高		49,324	—	52,242	—	2,917	5.9

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事株	11,002	22.3	11,915	22.8

3. 前第2四半期連結会計期間については、当第2四半期連結会計期間の表示に組替えております。

## (12) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	第2四半期 連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	第4四半期 連結会計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	通期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高 (対前年同期増減率)	45,197 (△7.0%)	49,324 (△0.5%)	40,743 (2.4%)	36,671 (△1.3%)	171,937 (△1.8%)
営業利益 (対売上高比率)	2,802 (6.2%)	2,504 (5.1%)	1,275 (3.1%)	△185 (△0.5%)	6,397 (3.7%)
経常利益 (対売上高比率)	3,129 (6.9%)	2,510 (5.1%)	1,467 (3.6%)	195 (0.5%)	7,304 (4.2%)
税金等調整前四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	3,117 (6.9%)	2,412 (4.9%)	1,573 (3.9%)	△1,154 (△3.2%)	5,948 (3.5%)
四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	1,948 (4.3%)	1,324 (2.7%)	886 (2.2%)	△1,178 (△3.2%)	2,981 (1.7%)

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	第2四半期 連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	第3四半期 連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	第4四半期 連結会計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	通期予想 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売上高 (対前年同期増減率)	46,276 (2.4%)	52,242 (5.9%)			180,000 (4.7%)
営業利益 (対売上高比率)	2,682 (5.8%)	3,396 (6.5%)			6,900 (3.8%)
経常利益 (対売上高比率)	2,820 (6.1%)	3,494 (6.7%)			7,300 (4.1%)
税金等調整前四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	3,266 (7.1%)	3,405 (6.5%)			7,400 (4.1%)
四半期(当期)純利益 (対売上高比率)	1,774 (3.8%)	1,908 (3.7%)			4,000 (2.2%)

## (13) セグメント売上高及びセグメント利益

〈第1四半期連結会計期間〉

(単位：百万円)

平成22年3月期第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｸﾞﾗﾌﾞ ｲﾌﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	22,916	7,044	2,218	2,279	1,247	35,707	5,742	479	41,929	2,678	175	413	-	3,267	-	45,197
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	2,812	2,812	244	99	-	-	343	△ 3,156	-
計	22,916	7,044	2,218	2,279	1,247	35,707	5,742	3,291	44,741	2,922	275	413	-	3,611	△ 3,156	45,197
セグメント利益 又は損失(△)	942	747	666	△ 24	50	2,383	352	201	2,937	119	△ 188	△ 66	-	△ 134	-	2,802
売上高営業利益率(%)	4.1%	10.6%	30.0%	△ 1.1%	4.0%	6.7%	6.1%	6.1%	6.6%	4.1%	△ 68.4%	△ 16.0%	-	△ 3.7%	-	6.2%

平成23年3月期第1四半期連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｸﾞﾗﾌﾞ ｲﾌﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	541	42,821	2,640	280	534	-	3,455	-	46,276
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	2,779	2,779	21	62	8	-	91	△ 2,871	-
計	22,936	7,447	2,190	2,365	1,500	36,440	5,838	3,321	45,601	2,661	342	543	-	3,547	△ 2,871	46,276
セグメント利益 又は損失(△)	647	508	606	296	96	2,156	418	148	2,722	191	△ 193	△ 39	-	△ 40	-	2,682
売上高営業利益率(%)	2.8%	6.8%	27.7%	12.5%	6.4%	5.9%	7.2%	4.5%	6.0%	7.2%	△ 56.4%	△ 7.2%	-	△ 1.1%	-	5.8%

第1四半期連結会計期間－ 増減

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｸﾞﾗﾌﾞ ｲﾌﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	20	403	△ 28	86	253	733	96	62	892	△ 38	105	121	-	188	-	1,079
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	△ 33	△ 33	△ 223	△ 37	8	-	△ 252	285	-
計	20	403	△ 28	86	253	733	96	30	860	△ 261	67	130	-	△ 64	285	1,079
セグメント利益 又は損失(△)	△ 295	△ 239	△ 60	320	46	△ 227	66	△ 53	△ 215	72	△ 5	27	-	94	-	△ 120

(注) 1. 前連結会計年度については、当連結会計年度の表示に組替えております。  
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

平成22年3月期第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	25,908	7,177	2,931	1,260	2,160	39,438	6,050	444	45,932	2,720	203	467	-	3,392	-	49,324
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	3,229	3,229	140	159	12	-	312	△ 3,541	-
計	25,908	7,177	2,931	1,260	2,160	39,438	6,050	3,673	49,161	2,861	363	480	-	3,704	△ 3,541	49,324
セグメント利益 又は損失(△)	1,513	1,038	△ 320	△ 142	211	2,299	322	134	2,755	53	△ 229	△ 73	-	△ 250	-	2,504
売上高営業利益率(%)	5.8%	14.5%	△ 10.9%	△ 11.3%	9.8%	5.8%	5.3%	3.6%	5.6%	1.9%	△ 63.1%	△ 15.2%	-	△ 6.7%	-	5.1%

平成23年3月期第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日～平成22年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	27,926	7,478	3,106	1,626	2,318	42,456	6,120	447	49,024	2,377	254	585	-	3,217	-	52,242
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	3,313	3,313	52	88	27	-	168	△ 3,481	-
計	27,926	7,478	3,106	1,626	2,318	42,456	6,120	3,760	52,337	2,429	343	612	-	3,386	△ 3,481	52,242
セグメント利益 又は損失(△)	2,273	563	△ 206	△ 54	445	3,021	393	240	3,655	4	△ 169	△ 93	-	△ 258	-	3,396
売上高営業利益率(%)	8.1%	7.5%	△ 6.6%	△ 3.3%	19.2%	7.1%	6.4%	6.4%	7.0%	0.2%	△ 49.4%	△ 15.3%	-	△ 7.6%	-	6.5%

第2四半期連結会計期間－ 増減

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	2,017	301	175	365	158	3,017	70	3	3,091	△ 342	51	117	-	△ 174	-	2,917
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	83	83	△ 88	△ 70	15	-	△ 143	59	-
計	2,017	301	175	365	158	3,017	70	87	3,175	△ 431	△ 19	132	-	△ 318	59	2,917
セグメント利益 又は損失(△)	760	△ 475	114	88	234	722	71	106	900	△ 49	60	△ 20	-	△ 8	-	891

(注) 1. 前連結会計年度については、当連結会計年度の表示に組替えております。  
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



平成22年3月期第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｽﾏｰﾄﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	48,825	14,221	5,150	3,540	3,408	75,146	11,792	923	87,862	5,399	379	880	-	6,659	-	94,521
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	6,041	6,041	385	258	12	-	656	△ 6,697	-
計	48,825	14,221	5,150	3,540	3,408	75,146	11,792	6,965	93,903	5,784	638	893	-	7,315	△ 6,697	94,521
セグメント利益 又は損失(△)	2,455	1,785	346	△ 166	261	4,682	674	335	5,692	172	△ 417	△ 139	-	△ 384	-	5,307
売上高営業利益率(%)	5.0%	12.6%	6.7%	△ 4.7%	7.7%	6.2%	5.7%	4.8%	6.1%	3.0%	△ 65.4%	△ 15.6%	-	△ 5.2%	-	5.6%

平成23年3月期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｽﾏｰﾄﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	50,862	14,926	5,297	3,991	3,819	78,897	11,959	988	91,845	5,017	535	1,120	-	6,673	-	98,519
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	6,092	6,092	73	150	35	-	260	△ 6,353	-
計	50,862	14,926	5,297	3,991	3,819	78,897	11,959	7,081	97,938	5,091	686	1,156	-	6,933	△ 6,353	98,519
セグメント利益 又は損失(△)	2,921	1,071	400	242	541	5,177	811	388	6,377	196	△ 363	△ 133	-	△ 299	-	6,078
売上高営業利益率(%)	5.7%	7.2%	7.6%	6.1%	14.2%	6.6%	6.8%	5.5%	6.5%	3.8%	△ 52.9%	△ 11.5%	-	△ 4.3%	-	6.2%

第2四半期連結累計期間－ 増減

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	ｽﾏｰﾄﾌﾞﾗﾝﾄﾞ 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	2,036	704	147	450	411	3,751	167	65	3,983	△ 381	155	239	-	13	-	3,997
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	51	51	△ 311	△ 107	23	-	△ 395	344	-
計	2,036	704	147	450	411	3,751	167	116	4,034	△ 692	47	262	-	△ 382	344	3,997
セグメント利益 又は損失(△)	466	△ 714	54	408	280	495	137	53	685	24	54	6	-	85	-	771

(注) 1. 前連結会計年度については、当連結会計年度の表示に組替えております。  
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

平成22年3月期第3・4四半期連結会計期間（平成21年10月1日～平成22年3月31日）－ 実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	35,260	14,560	2,279	2,945	3,013	58,056	11,614	804	70,474	5,522	353	1,067	-	6,941	-	77,416
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	4,768	4,768	1,242	187	24	-	1,454	△ 6,222	-
計	35,260	14,560	2,279	2,945	3,013	58,056	11,614	5,571	75,243	6,764	539	1,091	-	8,396	△ 6,222	77,416
セグメント利益 又は損失(△)	493	820	△ 272	△ 542	288	787	398	255	1,441	251	△ 442	△ 160	-	△ 351	-	1,090
売上高営業利益率(%)	1.4%	5.6%	△ 11.9%	△ 18.4%	9.6%	1.4%	3.4%	4.6%	1.9%	3.7%	△ 82.0%	△ 14.7%	-	△ 4.2%	-	1.4%

平成23年3月期第3・4四半期連結会計期間（平成22年10月1日～平成23年3月31日）－ 差引予想

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	35,638	16,074	2,303	3,009	3,081	60,103	11,541	812	72,455	5,983	565	1,180	1,300	9,027	-	81,481
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	4,908	4,908	927	150	65	-	1,140	△ 6,047	-
計	35,638	16,074	2,303	3,009	3,081	60,103	11,541	5,719	77,362	6,909	714	1,244	1,300	10,167	△ 6,047	81,481
セグメント利益 又は損失(△)	179	829	△ 100	△ 242	159	823	289	112	1,223	304	△ 237	△ 167	△ 300	△ 401	-	822
売上高営業利益率(%)	0.5%	5.2%	△ 4.3%	△ 8.0%	5.2%	1.4%	2.5%	2.0%	1.6%	4.4%	△ 33.2%	△ 13.4%	△ 23.1%	△ 3.9%	-	1.0%

第3・4四半期連結会計期間－ 増減

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	テイク 通販	計										
売上高																
外部顧客に対する 売上高	378	1,514	24	64	68	2,047	△ 73	8	1,981	461	212	113	1,300	2,086	-	4,065
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	140	140	△ 315	△ 37	41	-	△ 314	175	-
計	378	1,514	24	64	68	2,047	△ 73	148	2,119	145	175	153	1,300	1,771	175	4,065
セグメント利益 又は損失(△)	△ 314	9	172	300	△ 129	36	△ 109	△ 143	△ 218	53	205	△ 7	△ 300	△ 51	-	△ 268

(注) 1. 前連結会計年度については、当連結会計年度の表示に組替えております。  
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

〈通期〉

(単位：百万円)

平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)－実績

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	デイ 通販	計										
売上高 外部顧客に対する 売上高	84,085	28,781	7,429	6,485	6,421	133,202	23,406	1,727	158,336	10,921	732	1,947	-	13,600	-	171,937
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	10,809	10,809	1,627	445	36	-	2,110	△ 12,919	-
計	84,085	28,781	7,429	6,485	6,421	133,202	23,406	12,536	169,146	12,548	1,177	1,984	-	15,711	△ 12,919	171,937
セグメント利益 又は損失(△)	2,948	2,605	74	△ 708	549	5,469	1,072	590	7,133	423	△ 859	△ 299	-	△ 735	-	6,397
売上高営業利益率(%)	3.5%	9.1%	1.0%	△ 10.9%	8.6%	4.1%	4.6%	4.7%	4.2%	3.4%	△ 73.0%	△ 15.1%	-	△ 4.7%	-	3.7%

平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)－予想

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	デイ 通販	計										
売上高 外部顧客に対する 売上高	86,500	31,000	7,600	7,000	6,900	139,000	23,500	1,800	164,300	11,000	1,100	2,300	1,300	15,700	-	180,000
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	11,000	11,000	1,000	300	100	-	1,400	△ 12,400	-
計	86,500	31,000	7,600	7,000	6,900	139,000	23,500	12,800	175,300	12,000	1,400	2,400	1,300	17,100	△ 12,400	180,000
セグメント利益 又は損失(△)	3,100	1,900	300	0	700	6,000	1,100	500	7,600	500	△ 600	△ 300	△ 300	△ 700	-	6,900
売上高営業利益率(%)	3.6%	6.1%	3.9%	0.0%	10.1%	4.3%	4.7%	3.9%	4.3%	4.2%	△ 42.9%	△ 12.5%	△ 23.1%	△ 4.1%	-	3.8%

通期－増減

	国内事業									海外事業					調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンシューマー事業						業務用 事業	その他	計	米国	欧州	アジア	豪州	計		
	飲料	食品	ギフト	生鮮野菜	デイ 通販	計										
売上高 外部顧客に対する 売上高	2,415	2,219	171	515	479	5,798	94	73	5,964	79	368	353	1,300	2,100	-	8,063
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	191	191	△ 627	△ 145	64	-	△ 710	519	-
計	2,415	2,219	171	515	479	5,798	94	264	6,154	△ 548	223	416	1,300	1,389	519	8,063
セグメント利益 又は損失(△)	152	△ 705	226	708	151	531	28	△ 90	467	77	259	△ 1	△ 300	35	-	503

(注) 1. 前連結会計年度については、当連結会計年度の表示に組替えております。  
2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別		前第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)		当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)		増 減		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
(資産の部)										
I 流動資産										
現金及び預金	9,373		11,994		2,620		5,970			
受取手形	45		—		△ 45		4			
売掛金	28,072		29,666		1,594		22,920			
有価証券	22,773		25,049		2,275		9,532			
商品及び製品	6,351		7,122		771		5,993			
仕掛品	30		24		△ 6		29			
原材料及び貯蔵品	15,663		12,090		△ 3,572		14,359			
前払費用	2,988		1,035		△ 1,953		1,898			
繰延税金資産	611		616		4		364			
短期貸付	2,175		2,240		64		1,279			
未収入金	1,347		8,260		6,912		585			
その他	1,812		2,567		755		1,830			
貸倒引当金	75		188		112		34			
	△ 59		△ 60		△ 0		△ 50			
流動資産合計	91,263	59.9	100,796	64.2	9,533		64,752		53.3	
II 固定資産										
有形固定資産										
建物(純額)	9,337		8,774		△ 563		9,042			
取得価額	24,243		24,324		80		24,305			
減価償却累計額	14,906		15,549		643		15,262			
構築物(純額)	924		870		△ 54		906			
取得価額	3,772		3,840		68		3,809			
減価償却累計額	2,847		2,970		122		2,903			
機械及び装置(純額)	9,441		7,721		△ 1,719		8,611			
取得価額	50,789		49,927		△ 862		50,400			
減価償却累計額	41,348		42,205		856		41,789			
車両及び運搬具(純額)	5		4		△ 1		5			
取得価額	87		88		0		88			
減価償却累計額	81		84		2		83			
工具、器具及び備品(純額)	572		510		△ 62		497			
取得価額	4,539		4,687		147		4,547			
減価償却累計額	3,966		4,176		210		4,050			
土地	5,161		5,155		△ 6		5,161			
リース資産(純額)	1,237		974		△ 263		1,100			
取得価額	2,570		2,315		△ 254		2,448			
減価償却累計額	1,332		1,341		8		1,347			
建設仮勘定	72		191		118		88			
有形固定資産合計	26,754	17.6	24,201	15.4	△ 2,552		25,412		20.9	
無形固定資産										
借地権	155		155		—		155			
商標	95		64		△ 30		79			
ソフトウエア	1,610		1,427		△ 183		1,615			
その他	44		44		△ 0		44			
無形固定資産合計	1,905	1.3	1,691	1.1	△ 214		1,895		1.6	
投資その他の資産										
投資有価証券	13,145		12,933		△ 212		12,896			
関係会社株	9,987		6,191		△ 3,796		6,125			
出資	15		15		—		15			
関係会社出資	1,142		1,799		657		1,142			
関係会社長期貸付	6,330		7,604		1,274		7,575			
破産更生債権	2		21		18		19			
長期前払費用	103		80		△ 23		110			
繰延税金資産	362		770		407		534			
保険積立	249		225		△ 24		249			
敷金	654		624		△ 30		655			
その他	463		459		△ 3		459			
貸倒引当金	130		△ 455		△ 324		△ 441			
投資その他の資産合計	32,326	21.2	30,269	19.3	△ 2,057		29,343		24.2	
固定資産合計	60,986	40.1	56,162	35.8	△ 4,824		56,651		46.7	
資産合計	152,250	100.0	156,958	100.0	4,708		121,403		100.0	

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 会計期間末 (平成21年9月30日)		当第2四半期 会計期間末 (平成22年9月30日)		増 減		前事業年度末 (平成22年3月31日)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
		(負債の部)							
I 流 動 負 債									
支 払 手 形 債 権		388		270		△ 117		204	
買 掛 金		13,306		13,847		541		10,038	
短期借入金		20,000		20,000		—		—	
一年以内返済予定の長期借入金		600		825		225		650	
リース負債		2,746		2,746		—		2,746	
未払費用		510		475		△ 34		473	
未払法人税等		9,875		10,268		393		7,193	
未払消費税等		509		539		29		454	
前受金		2,118		2,689		571		2,591	
前払消費税		409		442		32		548	
前受り金		9		—		△ 9		—	
前受り益		88		82		△ 5		96	
賞与引当金		1		12		10		7	
役員賞与引当金		1,725		1,710		△ 15		1,712	
設備関係支払手形債務		23		23		0		45	
その他の流動負債合計		81		63		△ 18		89	
		2,520		3,208		687		839	
		64		280		215		153	
流動負債合計		54,979	36.1	57,487	36.6	2,507		27,844	22.9
II 固 定 負 債									
長期借入金		4,784		8,638		3,854		3,411	
退職給付引当金		704		556		△ 147		693	
債務保証損失引当金		2,246		2,244		△ 1		2,074	
受入敷金の保証金		—		247		247		247	
その他の固定負債合計		328		309		△ 18		319	
		260		280		20		273	
固定負債合計		8,322	5.5	12,276	7.8	3,953		7,017	5.8
負債合計		63,302	41.6	69,764	44.4	6,461		34,862	28.7
(純資産の部)									
I 株 主 資 本									
資本金		19,985	13.1	19,985	12.7	—		19,985	16.5
資本剰余金		23,733	15.6	23,733	15.1	—		23,733	19.6
資本準備金		23,733		23,733		—		23,733	
利益剰余金		46,170	30.3	45,430	29.0	△ 740		43,020	35.4
その他利益剰余金		1,193		1,193		—		1,193	
特別償却準備金		44,977		44,237		△ 740		41,827	
固定資産圧縮積立金		10		0		△ 10		0	
固定資産圧縮特別勘定積立金		867		806		△ 60		806	
株式消却積立金		—		61		61		61	
トマト翁記念基金		3,256		3,256		—		3,256	
50		50		50		—		50	
退職給与積立金		175		175		—		175	
配当準備積立金		330		330		—		330	
別途積立金		33,810		33,810		—		33,810	
繰越利益剰余金		6,477		5,747		△ 730		3,337	
自己株式		△ 203	△ 0.1	△ 207	△ 0.1	△ 4		△ 205	△ 0.2
株主資本合計		89,685	58.9	88,941	56.7	△ 744		86,533	71.3
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等									
その他の有価証券評価差額金		766	0.5	168	0.1	△ 597		508	0.4
繰延ヘッジ損益		△ 1,505	△ 1.0	△ 1,915	△ 1.2	△ 410		△ 501	△ 0.4
評価・換算差額等合計		△ 738	△ 0.5	△ 1,746	△ 1.1	△ 1,008		7	0.0
純 資 産 合 計		88,947	58.4	87,194	55.6	△ 1,752		86,540	71.3
負 債 純 資 産 合 計		152,250	100.0	156,958	100.0	4,708		121,403	100.0

(注)この四半期個別貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## (15) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第2四半期 累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		当第2四半期 累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		増 減		前事業年度に係る 要約損益計算書 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売 上 高	87,044	100.0	90,449	100.0	3,405	3.9	156,506	100.0
II 売 上 原 価	43,340	49.8	43,707	48.3	366	0.8	79,189	50.6
売 上 総 利 益	43,703	50.2	46,742	51.7	3,039	7.0	77,317	49.4
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	38,336	44.0	40,791	45.1	2,455	6.4	70,422	45.0
営 業 利 益	5,366	6.2	5,951	6.6	584	10.9	6,894	4.4
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	85		157		72		169	
有 価 証 券 利 息	34		59		24		85	
受 取 配 当 金	214		230		15		361	
賃 貸 収 入	124		124		0		249	
雑 収 入	189		131		△ 58		422	
営 業 外 収 益 合 計	648	0.7	702	0.8	54	8.4	1,289	0.8
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	88		65		△ 22		165	
賃 貸 収 入 原 価	82		75		△ 6		155	
為 替 差 損	6		54		48		38	
雑 支 出	82		69		△ 13		138	
営 業 外 費 用 合 計	260	0.3	266	0.3	5	2.3	498	0.3
経 常 利 益	5,754	6.6	6,387	7.1	632	11.0	7,685	4.9
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0		—		△ 0		1	
固 定 資 産 売 却 益	—		11		11		131	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	—		449		449		—	
特 別 利 益 合 計	0	0.0	461	0.5	461	—	132	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	100		48		△ 52		136	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	6		37		30		7	
関 係 会 社 株 式 評 価 損	—		—		—		3,866	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		294	
債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 額	—		—		—		247	
関 係 会 社 支 援 損	72		46		△ 26		134	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2		16		14		14	
特 別 損 失 合 計	181	0.2	148	0.2	△ 33	△ 18.4	4,701	3.0
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	5,572	6.4	6,700	7.4	1,127	20.2	3,117	2.0
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	2,056		2,811		755		2,529	
法 人 税 等 調 整 額	4		△ 13		△ 17		225	
法 人 税 等	2,060	2.4	2,798	3.1	737	35.8	2,755	1.8
四 半 期 (当 期) 純 利 益	3,512	4.0	3,901	4.3	388	11.1	362	0.2

(注) この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第2四半期 会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期 会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)		増 減	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
		I 売 上 高	45,534	100.0	48,412	100.0	2,877
II 売 上 原 価	22,215	48.8	23,101	47.7	885	4.0	
売 上 総 利 益	23,318	51.2	25,310	52.3	1,992	8.5	
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	20,632	45.3	21,743	44.9	1,111	5.4	
営 業 利 益	2,686	5.9	3,567	7.4	880	32.8	
IV 営 業 外 収 益							
受 取 利 息	46		111		65		
有 価 証 券 利 息	24		31		7		
受 取 配 当 金	13		25		12		
貸 貸 収 入	61		62		0		
雑 収 入	57		56		△ 0		
営 業 外 収 益 合 計	202	0.5	288	0.6	85	42.2	
V 営 業 外 費 用							
支 払 利 息	47		32		△ 14		
貸 貸 収 入 原 価	47		40		△ 7		
為 替 差 損	31		△ 29		△ 61		
雑 支 出	44		48		4		
営 業 外 費 用 合 計	170	0.4	92	0.2	△ 78	△ 46.0	
経 常 利 益	2,718	6.0	3,763	7.8	1,044	38.4	
VI 特 別 利 益							
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0		△ 13		△ 13		
固 定 資 産 売 却 益	—		11		11		
特 別 利 益 合 計	0	0.0	△ 1	△ 0.0	△ 1	—	
VII 特 別 損 失							
固 定 資 産 処 分 損	93		33		△ 59		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	1		37		35		
関 係 会 社 支 援 損	31		23		△ 8		
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	2		16		14		
特 別 損 失 合 計	129	0.3	111	0.3	△ 18	△ 15	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	2,588	5.7	3,650	7.5	1,060	41.0	
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,011		1,443		431		
法 人 税 等 調 整 額	4		—		△ 4		
法 人 税 等	1,016	2.2	1,443	2.9	427	42.1	
四 半 期 純 利 益	1,572	3.5	2,206	4.6	634	40.3	

(注)この四半期個別損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

## 当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的  
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの  
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見  
通しのみには全面的な依拠することは控えるようお願い致しま  
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績  
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきくだ  
さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、以下のよ  
うなものが含まれます。すなわち、 天候、特に夏場の低温  
異物混入等の製品事故 カゴメの事業領域を取り巻く経済情  
勢、特に消費動向 変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激  
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品  
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などで  
す。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるも  
のではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く  
理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めす  
るためのものではありません。さらに当資料に記載されている  
市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正  
確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の  
予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なし  
に変更することがありますので注意ください。